

RCF®防根・防竹シート 全ての植物根に対応したオールラウンド防根シート

RCF®防根・防竹シートは4層スパンボンド不織布にポリプロピレン樹脂を両面コーティングした不透水性の防根シートです。引張強度、伸び、耐水圧、破裂強度に優れ、根の圧迫、地中埋設にかかる土圧にも耐え、水による劣化等の問題もありません。

RCF®防根・防竹シートの施工は熟練工も特別な機具も不要で、カッターやハサミで簡単に加工出来ます。シートを延長する場合、シート同士を重ねて専用のテープで両面貼り付け接続しますが、重ね長さは植物により変わります。竹の場合は1m以上、樹木及び笹は20cm以上シートを重ね合わせ、専用のテープでシート両面に貼り付け(接続)してください。

RCF®防根・防竹シート

品番	規格	入数	価格(税抜)〈本〉
RCF420-0520	50cm幅×20m巻	1本	¥ 23,800
RCF420-1020	1m幅×20m巻	1本	¥ 47,600
RCF420-1520	1.5m幅×20m巻	1本	¥ 71,400
RCF420-2020	2m幅×20m巻	1本	¥ 95,200
RCF420-0510	50cm幅×10m巻	1本	¥ 11,900
RCF420-1010	1m幅×10m巻	1本	¥ 23,800
RCF420-1510	1.5m幅×10m巻	1本	¥ 35,700
RCF420-2010	2m幅×10m巻	1本	¥ 47,600

材料/ポリプロピレン

運賃 21m以上

RCF®防根テープ

品番	規格	価格(税抜)〈本〉
RT-1000	幅10cm×長さ10m	¥ 12,000

運賃 12本以上

主な特長

全ての植物の根茎に対応します。
化学薬品は一切使用しておりませんので、土壌汚染、樹木への成長阻害の心配はありません。
100%ポリプロピレン素材ですので、加水分解もなく、廃棄の際も問題ありません。
高強度で柔軟性があり、耐水性に優れています。又、軽量で施工性にも優れています。
土中の化学薬品、バクテリア、酸、アルカリ、微生物等に影響を受け難く耐久性に優れています。
紫外線劣化防止加工を施しているため、シート露出部も耐久性があります。
揮発成分、臭い、ベタツキは有りません。

〔用途〕

樹木の根自体の保護・舗装道路やインターロッキングの持ち上がり防止・上下水道管、浄化槽、地下貯留システムの保護・屋上緑化・護岸植栽・ガス管、電線共同溝、電気ケーブルなどの保護・地下茎、根茎の侵出防止



地下貯留層の防根



護岸整備の防根

竹…竹林との境界や竹の植栽に

竹の根は成長が早く貫通力があるため、障害物があっても限りなく地下茎が成長します。特にモウソウ竹の場合、地下茎の深さは通常GLから10～50cmの深さで成長しますが、環境によっては80cmまで及びます。この地下茎を防ぐことが重要なポイントです。

RCF®を竹へ使用する場合の注意点

・上部を5cm程度地表に露出して下さい。



施工現場の検証



シートを剥がしモウソウ竹地下茎の検証を行った。地下茎はシートに沿って成長しており、この現場の最大深さは80cmであった。貫通やぐり抜けは無く完全に抑制していた。

樹木…舗装道路や屋上緑化に

樹木の根は、特に良質な土壌で多湿の場合、障害物があっても際限なく成長します。舗装部分の下は土壌はその縁ほど肥えていないため、樹木の根は成長が加速され、通常より太くなり舗装部分に亀裂をあたえたり、持ち上げたりするのです。又、樹木の根がパイプやケーブルに遭遇した場合、下水管や水道管の湿度の高さに影響され、パイプの中に侵入したり持ち上げたりし、重大な被害を起こします。新設時に予め施工しておくことをお奨めします。



笹…笹の植栽に

笹の根は竹と同じく成長が早いので、障害物があっても限りなく地下茎が成長します。地下茎の深さは通常GLから10～30cmの深さで成長します。この地下茎(ランナー)を防ぐことが重要なポイントです。

RCF®を笹へ使用する場合の注意点

・上部を5cm程度地表に露出して下さい。



施工現場の検証



施工から3年経過した現場で、笹はエリア外へ浸食しておらず、防根シートによって完全に抑制されていた。

メンテナンス

根が成長する春から秋の期間は、地下茎が地表から露出し乗り越えた場合、根を切断して下さい。笹の種類によっては地下茎の深さが50～60cmに達する場合があります。

※予告なしに価格・仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。